

仕 様 書		仕様書番号	C4-20642-1~4		
		図面番号	C4-20642-1	設 変	h 頁
製 品 名	電源保護用保安器AV11形 (UL規格品) 型式：AV-11 UL	制 定 日	1989/11/20	改訂日	2018/01/22
		作 成 部 門	営業技術部		

1. 概 説

本品は、電源線等に誘起される雷サージ等の異常電圧から電源機器等を保護するために使用する保安器です。

なお本品は、『UL1449規格Surge-protective Devices - Component』にてUL規格を取得しております。
(File No. : VZCA2.E328370)

2. 外観・構造・寸法・表示

本品の外観・構造・寸法および表示は、図A4-20660によります。

3. 定格使用保管温度・湿度範囲

本品の使用場所は、屋内機器・装置内で、使用保管温度・湿度範囲は以下によります。

3-1 定格使用保管温度範囲：-40℃~+85℃

3-2 定格使用保管湿度範囲：85%以下(結露のないこと)

4. 電気的性能

本品の電気的性能を表1に示します。

表1 電気的性能

No	項目	条件	規格
1	公称回路電圧	AC. rms	125 V
		DC	150 V
2	最大連続使用電圧 MCOV	AC. rms	125 V
3	許容端子電圧	AC. peak	260 V
		DC	225 V
4	直流放電開始電圧	2kV/sec以下	300~500 V
5	インパルス放電開始電圧	10/200 μ s, 3 kV	\leq 800 V
6	制限電圧	10/200 μ s, 200 A	\leq 550 V
7	絶縁抵抗	DC 100 V	\geq 50 M Ω
8	静電容量	1 MHz	\leq 3 pF
9	最大インパルス電流耐量	8/20 μ s, 4.5kA	1 回
10	繰返しインパルス電流耐量	10/200 μ s, 200A	50 回
11	耐用寿命	10/200 μ s, 200A	1,000 回
12	公称放電電流 I _n	8/20 μ s	3 kA
13	電圧保護レベル MLV	8/20 μ s, 3kA	\leq 1,320 V

※ 測定時の温度・湿度は、JIS Z 8703(試験場所の標準状態)に記す、
常温20 \pm 15℃・常湿65 \pm 20%によります。

※ 最大インパルス電流耐量試験および耐用寿命試験後の規格
4項『 \geq 265 V』、5項『 \leq 1,000 V』、6項『 \leq 650 V』、7項『 \geq 10 M Ω 』

※ 繰返しインパルス電流耐量試験後の規格
4-7項について表1の規格を満足します。

<h1>仕 様 書</h1>		仕様書番号	C4-20642-1~4		
		図面番号	C4-20642-2	設 変	h
製 品 名	電源保護用保安器AV11形 (UL規格品) 型式：AV-11 UL	制 定 日	1989/11/20	改訂日	2018/01/22
		作 成 部 門	営業技術部		

5. 試験方法

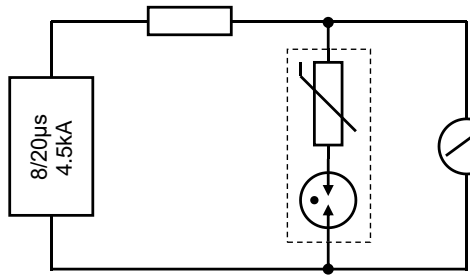
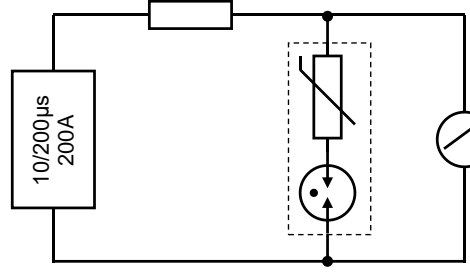
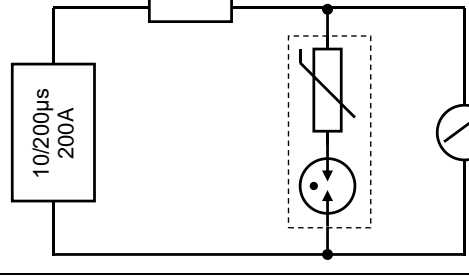
本品の試験方法を表2に示します。

表2 電気的性能の試験回路および試験方法 (1/2)

No	試 験 項 目	試 験 回 路	試 験 方 法
1	直流放電開始電圧		端子間に直流電圧を徐々に印加して放電を開始した時の電圧値を読む。 電圧上昇速度は、2kV/sec以下。
2	インパルス放電開始電圧		端子間にインパルス電圧 10/200µs, 3kVを印加して放電を開始したときの電圧値を読む。
3	制限電圧		端子間にインパルス電流 10/200µs, 200Aを印加した時の制限電圧値を読む。 但し通電後2µs以降の電圧値。
4	絶縁抵抗		絶縁計の測定電圧をDC 100V に設定して端子間の絶縁抵抗を測定する。
5	静電容量		静電容量計の測定周波数を1MHzに設定して端子間の静電容量を測定する。

<h1>仕 様 書</h1>		仕様書番号	C4-20642-1~4		
		図面番号	C4-20642-3	設 変	h
製品名	電源保護用保安器AV11形 (UL規格品) 型式：AV-11 UL	制定日	1989/11/20	改訂日	2018/01/22
		作成部門	営業技術部		

表2 電氣的性能の試験回路および試験方法(2/2)

No	試験項目	試験回路	試験方法
6	最大 インパルス電流耐量		端子間にインパルス電流 8/20µs, 4.5kAを1回印加す る。
7	繰返し インパルス電流耐量		端子間にインパルス電流 10/200µs, 200Aを1分間隔で 50回印加する。
8	耐 用 寿 命		端子間にインパルス電流 10/200µs, 200Aを1分間隔で 1,000回印加する。

6. 機械的性能

6-1 振動

加速度全振幅1.4G(振動数40Hz、全振幅0.23mm)の振動を上下、左右、前後の3方向にそれぞれ各2.5時間ずつ加えた後、表1の4~7項の規格を滿足します。

(JISE 3014 鉄道信号保安部品の振動試験方法に準拠)

6-2 端子引っ張り強度

端子の軸方向にゆっくりと1kgの荷重を加えた後、外觀に異常ありません。

6-3 端子曲げ強度

端子の端に約0.5kgの荷重を加え、リード線を90度曲げ、元に戻し、さらに逆方向に90度曲げ、元に戻した後、外觀に異常ありません。

6-4 はんだ付け性

はんだ温度 260 ± 5 °Cに約5秒間リード線を浸漬したとき、ピンホールまたは空隙が一つの面積に集中することなく、全面積の5%を越えません。

(JISC 60068-2-20 環境試験方法・電気・電子はんだ付け試験方法に準拠)

仕 様 書		仕様書番号	C4-20642-1~4			
		図面番号	C4-20642-4	設 変	h	頁
製 品 名	電源保護用保安器AV11形 (UL規格品) 型式：AV-11 UL	制 定 日	1989/11/20	改訂日	2018/01/22	
		作 成 部 門	営業技術部			

7.耐湿性能

温度40~45℃C、湿度90~95%中に48時間放置した後、常温、常湿中に取り出し1~2時間放置したとき、表1の7項の規格を満足します。

8.検査条件

本品の検査条件を表3に示します。

表3 検査条件

No.	検 査 項 目	検査の種類	検 査 方 式
1	外 観 ・ 構 造 ・ 表 示	通常検査	水準I AC=0 Re=1
2	寸 法	通常検査	n=5 AC=0 Re=1
3	直 流 放 電 開 始 電 圧	通常検査	水準I AC=0 Re=1
4	イ ン パ ル ス 放 電 開 始 電 圧	通常検査	n=20 AC=0 Re=1
5	絶 縁 抵 抗	通常検査	水準I AC=0 Re=1

通常検査の抜取方法は、ISO 2859によります。

9.包装形態

本品は、ボール箱(500個入り)に入れます。

ボール箱には、品名、数量、ロット番号、製造者名、ULマークを表示します。

10.保証内容

本品の保証期間は、納入後1年とします。

保証期間内における製造者の設計または、製造上の欠陥に起因する故障が発生した場合は、その現品に限り代替品納入の処置をとらせて頂きます。

11.環境対応 (RoHS指令対応)

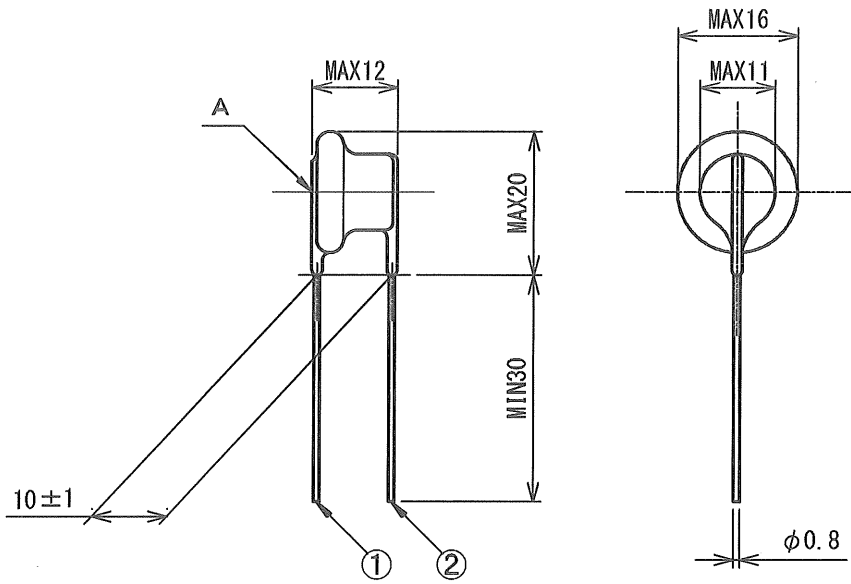
本製品はEU RoHS指令(*)における規制対象物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE、DEHP、BBP、DBP、DIBP) に関して、適用除外項目を除き、規定を超える含有はありません。

※欧州議会・理事会指令2011/65/EU, 2015/863/EU

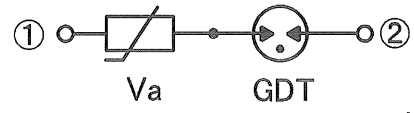
12.環境対応の識別表示

環境対応製品を識別するため、包装箱の表示ラベルに「RoHS」を表示します。

指定外寸法公差(m)	
3以下	±0.1
3を超え 6以下	±0.1
6を超え 30以下	±0.2
30を超え 120以下	±0.3
120を超え 400以下	±0.5
400を超え 1000以下	±0.8



<構成>



Va :ERZRV14D271
GDT:Y08SZ-350

<被覆樹脂>

エポキシ樹脂(黒)

<リード線>

銅覆鋼線(Snメッキ)

<表示>

表示内容:

- トレードマーク
- AV 11 → タイプ名
- 65 → Recognized Component Mark
- 製造月: 1月~9月:1~9
10月~12月:X,Y,Z
- 製造年:西暦下1ケタ

表示位置:上図のAの面

表示色 :白

[RoHS対応品]

DSN	営業技術部	'89.10.14	UNIT	mm	A4	TITLE	電源保護用保安器 AV11形(UL規格品)	
DWG	<i>Y. Mimura</i>	'16.05.25	SCALE	1/1		DWG No.	A4-20660	
CHK	<i>Y. Umano</i>	'16.05.25	SANKOSHA			REV.	C	